



# 業界レポート

## 繊維製造業界

株式会社CCイノベーション

令和4年9月

# 目次 -CONTENTS-

01. レポートサマリー
02. 基礎知識
03. 業界の動向
04. 今後の焦点
05. CCIのソリューション

# 1. レポートサマリー

## 基礎知識

- 繊維業界とは、紡糸、紡績、製糸、縫製、染色などで繊維を扱う関連産業のことを言います。
- 製造・流通の各段階をそれぞれの企業が担当するという繊維業界の特殊な構造が、繊維製品の生産・取引に大きな影響を与えています。

## 業界の動向

- 綿紡績業の製造品出荷額は1998年度1,260億円⇒2019年度190億円まで減少。
- 化学繊維の出荷額は2015年をピークに減少傾向。
- スマートテキスタイルの拡大。

## 今後の焦点

- 製造コスト削減（海外生産）は繊維業界全体で浸透している。
- 今後はさらに、付加価値（独自性、利便性、機能性）での競争となる。
- 他業界とのコラボレーションにより、新たな価値を創造していくことが求められるのではないか。

### 繊維業界とは

- 繊維業界とは、主に紡糸、紡績、製糸、縫製、染色などで天然繊維や化学繊維を扱う関連産業のことを言います。
- 製造・流通段階で分業体制が取られており、多業種に分かれています。（P.5 参照）  
川の流れに例えて、**川上**、**川中**、**川下**と区分され表現することがあります。

川上	合繊製造、紡績及び素材流通
川中	織布・ニット・染色及び中間製品流通
川下	縫製、製品流通

- 製造・流通の各段階をそれぞれの企業が担当するという繊維業界の特殊な構造が、繊維製品の生産・取引に大きな影響を与えています。

### 繊維の種類

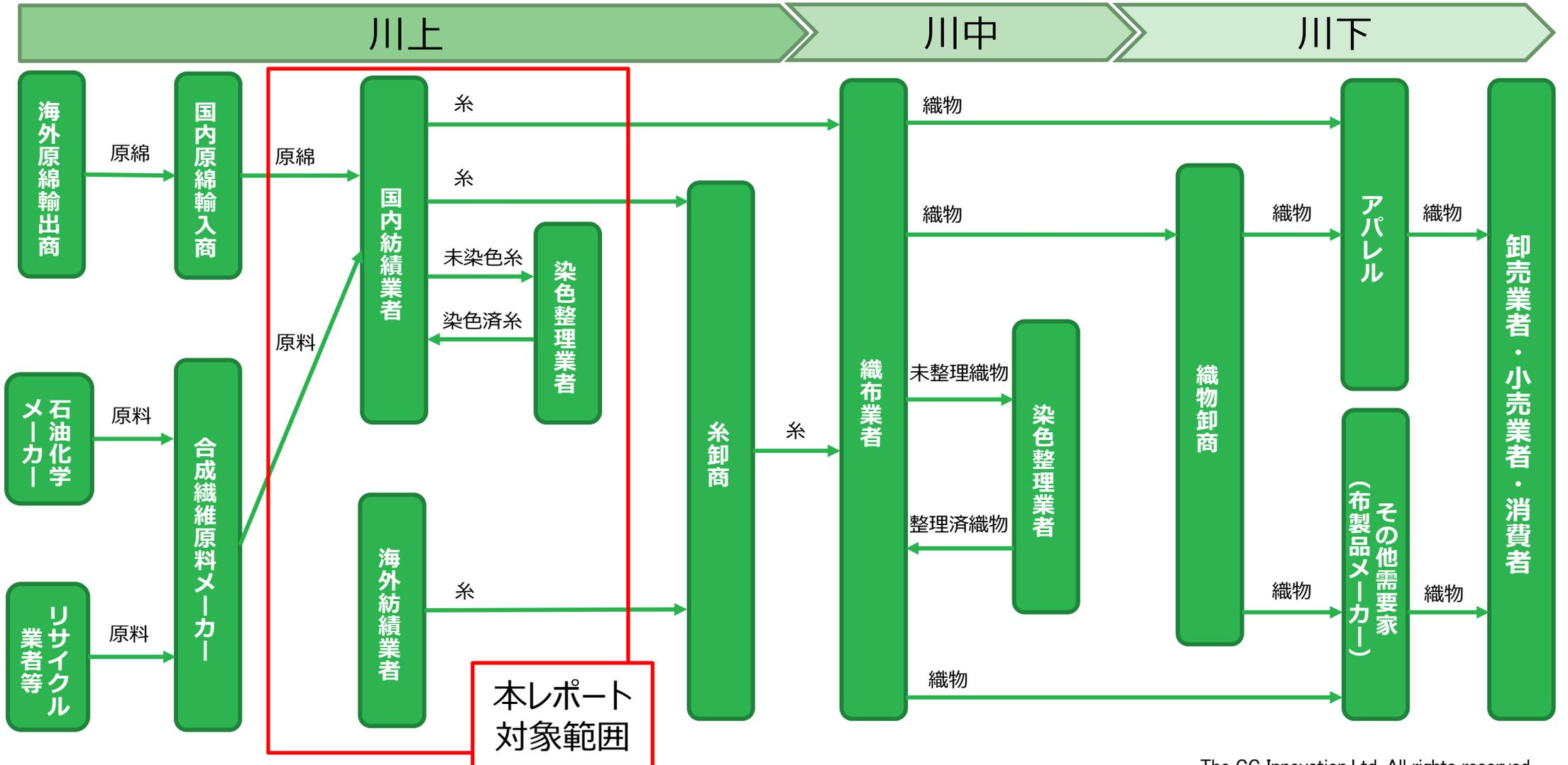
- 繊維は天然繊維と化学繊維に分別されます。

天然繊維	
繊維	原料繊維
植物繊維	綿 麻
動物繊維	絹（蚕） 羊毛（動物） ダウン（羽毛） フェザー（羽毛）
鉱物繊維	石綿（アスベスト）

化学繊維		
繊維	系統	原料繊維
再生繊維	セルロース系	レーヨン
半合成繊維	セルロース系	アセテート トリアセテート
合成繊維	ポリエステル系	ポリエステル
	アクリル系	アクリル
	ポリアミド系	ナイロン
無機繊維	ガラス繊維（グラスファイバー） 炭素繊維（カーボンファイバー） 金属繊維（金糸、銀糸、スチール系） セラミック繊維（シリカ繊維）	

## 2. 基礎知識

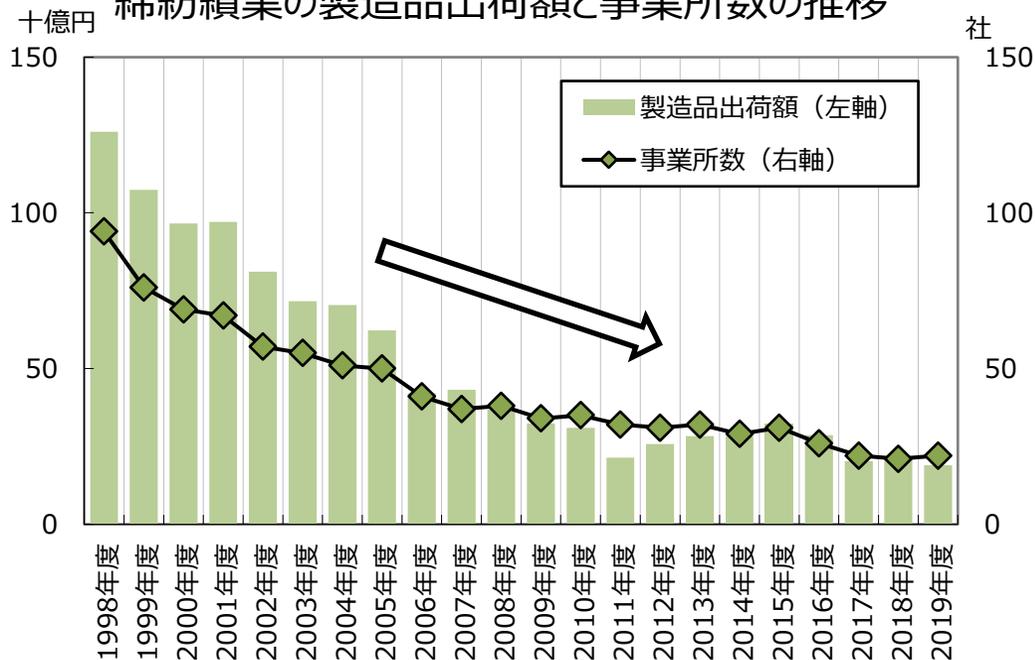
### 商流図



### 3. 業界の動向

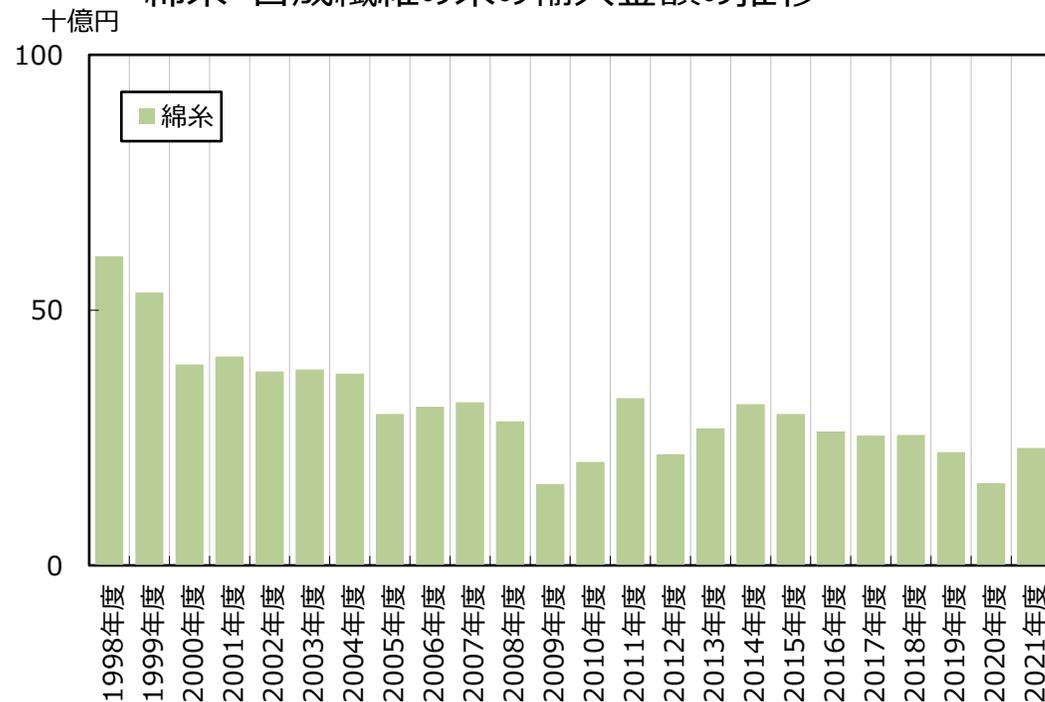
#### 天然繊維

綿紡績業の製造品出荷額と事業所数の推移



出所：経済産業省「工業統計（産業別統計表）」

綿糸・合成繊維の糸の輸入金額の推移

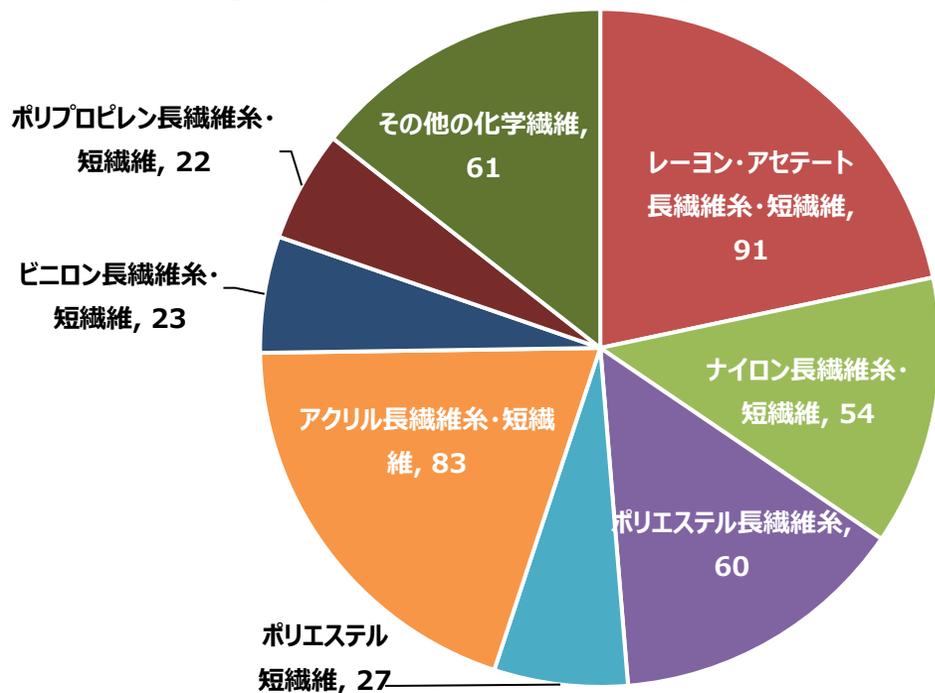


出所：財務省「貿易統計」

- 綿紡績業の製造品出荷額は1998年度1,260億円⇒2019年度190億円まで減少。
- 事業所数も1998年度94社⇒2019年度22社へ減少。
- 綿糸輸入金額減少に伴い、合成繊維の輸入金額が増加している。

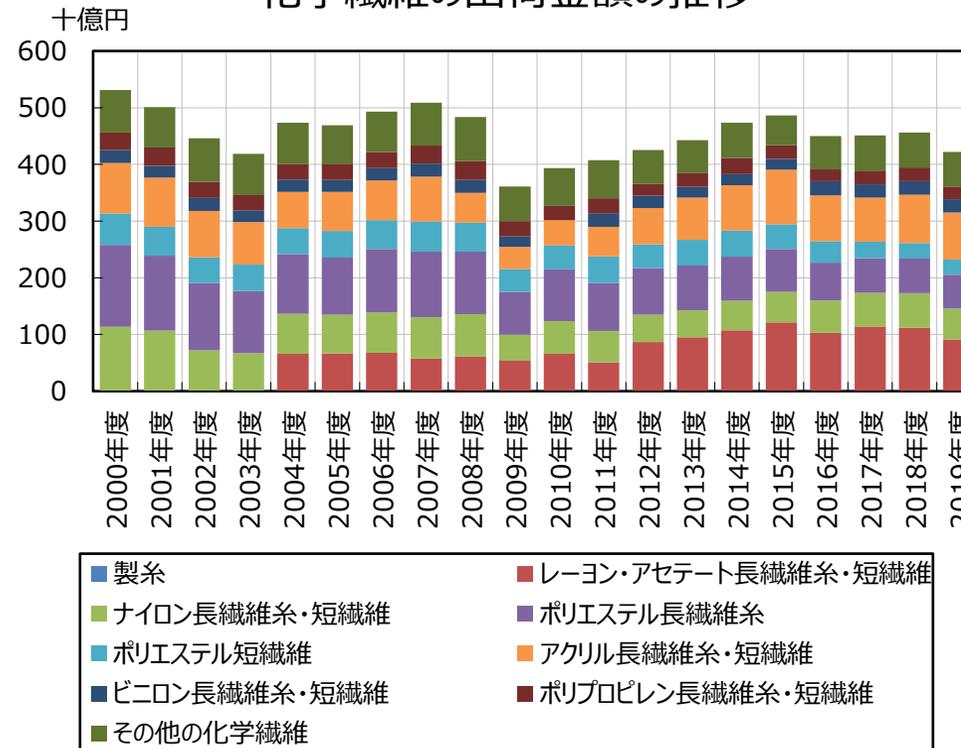
## 化学繊維

化学繊維出荷金額（2019年度、十億円）



出所：経済産業省「工業統計（品目別統計表）」

化学繊維の出荷金額の推移



出所：経済産業省「工業統計（品目別統計表）」

- 出荷割合はレーヨン・アセテート繊維が最も高く、出荷金額は910億円。
- 近年では2015年度をピークに出荷金額は減少傾向。

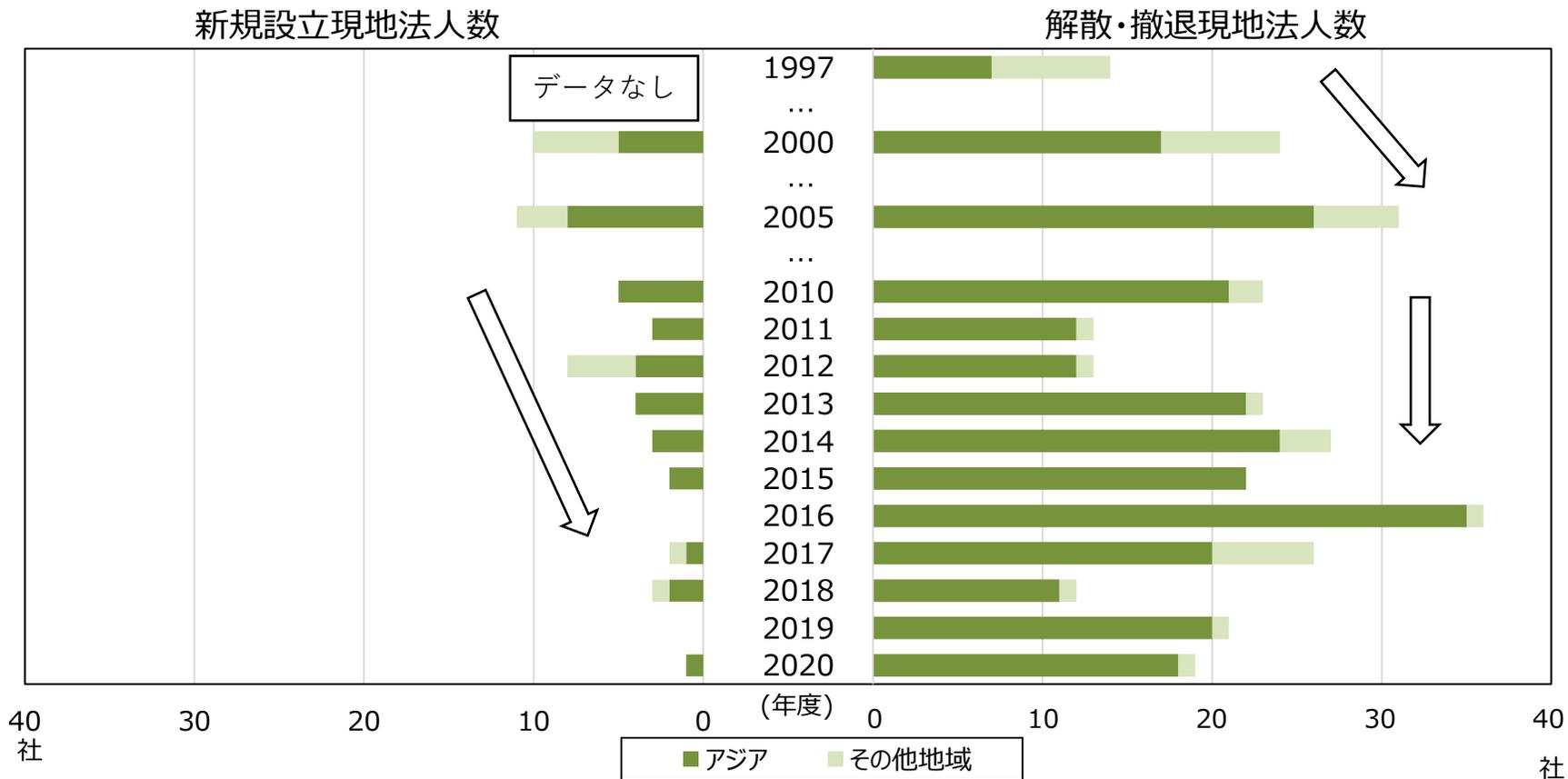
### 3. 業界の動向

#### 主要プレイヤー（繊維製造）

会社名	部門売上高	特徴
東レ	8,362億円	3大化繊を中心に衣料用や産業用繊維、炭素繊維
帝人	6,676億円	衣料用の原糸、ファッションやスポーツ向けの生地
東洋紡	1,590億円	エアバック用などの産業用繊維
日東紡	841億円	工業用ガラス繊維
クラレ	611億円	酢酸ビニル系繊維
ダイワボウHD	583億円	化繊や衣料用製品
クラボウ	447億円	デニム素材
ユニチカ	294億円	ユニフォーム用を中心とした衣料用繊維
三菱ケミカルHD	(12,879億円) ※ケミカル分野全体	化繊（アクリル系繊維中心）
旭化成	(11,982億円) ※マテリアル分野全体	産業用ナイロンや不織布、衣料用繊維

出所：各社IR資料

## 日本繊維企業の海外展開



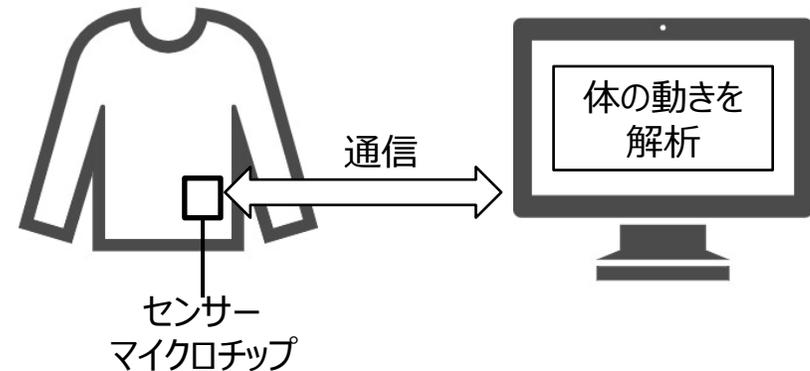
出所：経済産業省「海外事業活動基本調査」より作成

- 現地法人の新規設立は減少傾向。
- 現地法人の解散・撤退は年間20社前後を推移。アジア地域の解散・撤退が進んでいる。

## トレンド

### ・ スマートテキスタイルの拡大

繊維を基材とした衣服に生体情報などのセンシング機能を付与し、生活者の心拍や体の動きなどを把握することが可能。健康管理や熱中症対策等、様々な分野で活用が進められている。



### ・ 製品ライフサイクル管理

(PLM、Product Lifecycle Management)

企画から生産、販売までシステムで管理する取組が進んでいる。



## 4. 今後の焦点

### 異業種とのコラボ・高付加価値品

- 繊維製造業の現地法人解散・撤退が進んでおり、海外生産によるコスト削減は限界にきている。
- スマートテキスタイルが拡大しており、今後はさらに、付加価値（独自性、利便性、機能性）での競争となる。
- 他業界とのコラボレーションを活発化させ、新たな価値を創造していくことが求められるのではないか。



## 5. CCIのソリューション

### コンサルティングメニュー

<b>経営戦略</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>経営理念・ビジョン策定</li> <li>経営計画の策定</li> <li>個別施策の立案</li> </ul>	<b>コストマネジメント</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>原価管理体制の構築</li> <li>物件費削減に関する助言</li> <li>アウトソーシングの受託</li> </ul>	<b>人材紹介</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>最適な人材マッチング</li> <li>独自のネットワーク</li> <li>人材定着サポート</li> </ul>
<b>ビジネスマッチング</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>新たな販売・仕入先の紹介</li> <li>新商品・新技術開発パートナー紹介</li> <li>グループ会社コレゾの活用</li> </ul>	<b>人事制度・人材育成</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>人事評価制度の策定</li> <li>賃金制度の設計</li> <li>階層別・専門別研修の実施</li> </ul>	
<b>ICT</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>システム導入・更改のサポート</li> <li>独自アプリによる生産性向上</li> <li>社内コミュニケーションの活性化</li> </ul>	<b>業務効率化</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>BPR企画・立案</li> <li>クラウド会計を活用した事務効率化</li> <li>各種業務のマニュアル化</li> </ul>	
<b>海外展開</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>海外販路の開拓</li> <li>海外拠点の設立に関する支援</li> <li>貿易手続に関する助言</li> </ul>	<b>M &amp; A・事業承継</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>企業の売却・買収のコーディネート</li> <li>企業価値算定に関する助言</li> <li>経営の承継に向けた社内体制整備</li> </ul>	



業 務 提 携 機 関

- CCIではお客さまの課題を明確にとらえ、お客さまに最適なソリューションを提供します。
- 北國フィナンシャルHD各社、各業務提携機関がお客さまの成長戦略をご支援します。

- 本資料は、情報の提供のみを目的として作成されたものであり、CCイノベーションとのお取引を勧誘するものではありません。
- 本資料に記載されている意見などはCCイノベーションが信頼に足り、且つ正確であると判断した情報に基づき作成されたものではありませんが、その正確性、確実性を保証するものではありません。なお、本資料は、作成日において入手可能な情報等に基づいて作成したものであり、金融情勢・社会情勢等の変化により、内容が不正確なものになる可能性もあります。
- 本資料のご利用は、お客さま御自身の判断でなされるよう、また、必要な場合には顧問弁護士、税理士などの各種専門家にご相談いただきますようお願いいたします。
- 本資料の著作権はCCイノベーションに帰属し、本資料の一部または全部を、電子的または機械的な手段を問わず、無断での複製または転送等することを禁じます。